

2025 年 1 月 10 日

各 位

不動産投資信託証券発行者名

積水ハウス・リート投資法人

代表者名 執行役員

木 田 敦 宏

(コード番号：3309)

資産運用会社名

積水ハウス・アセットマネジメント株式会社

代表者名 代表取締役社長

阿 部 亨

問合せ先 I R 部長

齋 藤 孝 一

TEL. 03-6447-4870 (代表)

SBT (Science Based Targets) 認定取得に関するお知らせ

積水ハウス・リート投資法人（以下「本投資法人」といいます。）は、温室効果ガス（以下「GHG」といいます。）の排出削減目標について SBT 認定を取得しましたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. SBT 認定の概要

SBT は、CDP、国連グローバル・コンパクト、WRI（世界資源研究所）、WWF（世界自然保護基金）が 2015 年に設立した国際的な共同イニシアチブである SBTi (Science Based Targets initiative) により認定される科学的根拠に基づいた GHG 排出削減目標です。SBT 認定の取得にあたり、GHG 排出削減目標を 2015 年に開催された COP21（国連気候変動枠組条約第 21 回締約国会議）にて採択された国際協定であるパリ協定が求める水準に整合させることが求められます。



2. SBT 認定の取得について

本投資法人は、2023 年において、Scope 1、Scope2 の GHG 排出削減目標について SBT 認定を取得していましたが、今般、下記のとおり、基準年を 2023 年とし、Scope3 の GHG 排出削減目標を追加設定した中期目標とネットゼロの長期目標について、新たに SBT 認定を取得いたしました。

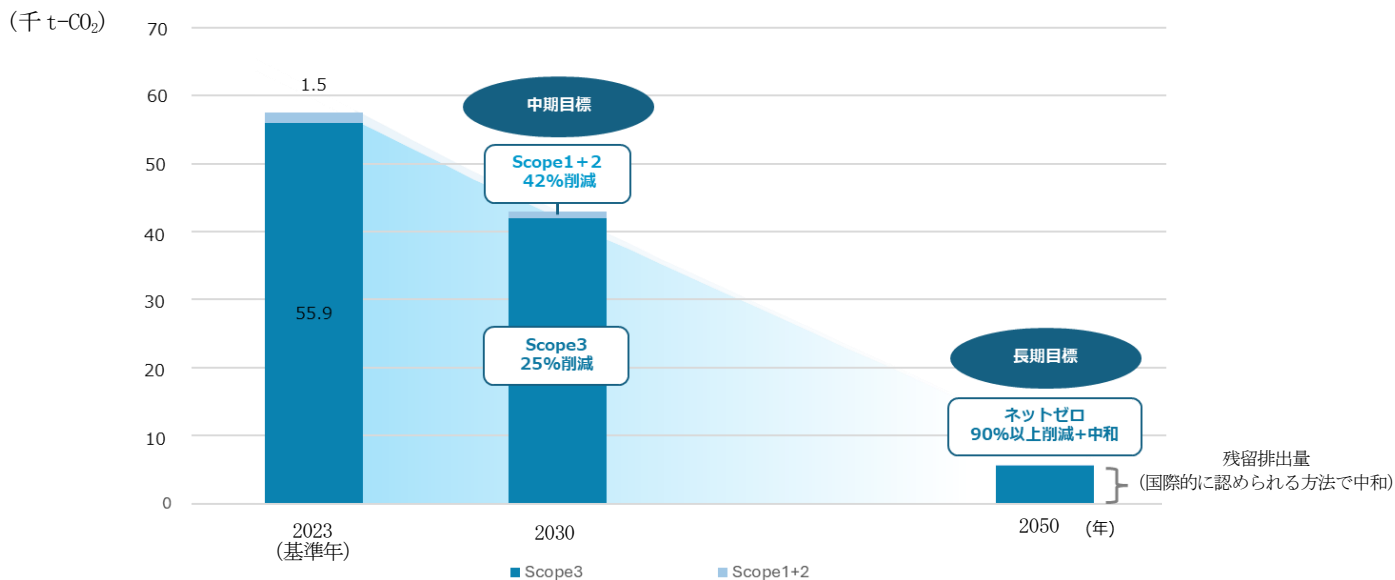
<GHG 排出削減目標>

中期目標	2030 年まで（2023 年対比）	Scope1、Scope2 を 42%削減 Scope3 を 25%削減
長期目標	2050 年まで（2023 年対比）	ネットゼロを達成 Scope1、Scope2 及び Scope3 を 90%以上削減し、残留排出量を中和する

また、本投資法人は、上記の長期目標「2050 年までにネットゼロを達成」に向けたロードマップを策定し、GHG 排出削減の取り組みを進めています。

ネットゼロ達成に向けたロードマップと主な削減施策は、以下のとおりです。

ネットゼロ達成に向けたロードマップ



主なGHG削減施策	省エネ	設備投資による省エネ（照明のLED化、高効率空調／エアコンの導入、屋上緑化、断熱工事等）
	省エネ	運用改善による省エネ
	再エネ	調達電力を再エネ由来電力に切替
	再エネ	新技術の活用を含めた再エネ調達手法の更なる検討
その他	再エネ	エネルギー属性証書（非化石証書等）の購入・使用
	その他	ポートフォリオの脱炭素化の更なる推進（ZEH物件の取得等）
	その他	サプライヤーとのエンゲージメントの強化
		電化や新技術の活用によるガス由来排出量の削減

なお、上記 GHG 排出削減目標の達成に向けた取組みを通じて、本投資法人は SDGs（持続可能な開発目標）の目標 7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、目標 13「気候変動に具体的な対策を」に貢献いたします。

【関連する SDGs】



3. 本投資法人の今後の対応

本投資法人は、ESG（環境（Environment）・社会（Social）・ガバナンス（Governance））へ配慮した不動産投資運用を通じて持続可能な社会の実現に貢献することを目指しています。

本投資法人は、環境性能に優れた不動産への投資に向け、ESG経営のリーディングカンパニーを目指すスポンサーである積水ハウス株式会社が有する不動産の運営管理に関するノウハウを活用し、今後も保有資産におけるテナント満足度の向上に即した省エネルギー・環境配慮、生活の安全性や事業の継続性の確保等を一層推進していきます。

本投資法人のESGへの取組みの詳細については、本投資法人の「[ESG特設サイト](#)」をご覧ください。

以 上

※ 本投資法人のウェブサイト：<https://sekisuihouse-reit.co.jp/>